



東京家政大学

140年の
歩み

140th
Anniversary

上：1889 本郷区東竹町34・35番地に新築した東京裁縫女学校の校舎
下：2021 東京家政大学 板橋キャンパス16号館ルーチェ(食堂)前



校祖・渡邊辰五郎が本郷湯島の自宅に開設した「和洋裁縫伝習所」校舎



重要有形民俗文化財となった辰五郎考案の雛形尺、袖形、襜形



和洋裁縫伝習所の卒業生と渡邊辰五郎(後列中央)



東京裁縫女学校校舎(左)辰五郎の自宅兼寄宿舎(右)

1881 東京家政大学の始まり

東京家政大学の始まりは、1881(明治14)年にまでさかのぼります。本学の前身は、創立者である渡邊辰五郎が本郷湯島(文京区湯島)に開いた「和洋裁縫伝習所」。裁縫という専門性を持つことによる女性の「自主自律」を目指して開設され、その後はそこから多くの教え子たちが裁縫指導者として巣立ち、なかには自ら学校を設立した卒業生もいます。

裁縫の知識と技術で女性の自立を促す

明治の頃、裁縫は女性が自立するための大切な手段でした。しかし、当時の裁縫指導は、師匠が弟子に手ほどきをするという江戸時代式。現代では当たり前とされるような、裁縫指導の課程が確立されていなかったのです。その頃、江戸の仕立屋に奉公して身につけた裁縫技術を教える裁縫塾を開き、小学校で裁縫を教えるようになっていた渡邊辰五郎は、裁縫指導のカリキュラムをつくることに着手。子どもの発達段階に応じて、基礎から応用へと段階を踏んで学べる体制を整えました。同時に彼は、数々の画期的な裁縫教授法を編み出していきます。そのひとつがミニチュアサイズの衣服「裁縫雛形」(重要有形民俗文化財)の製作を、授業に取り入れたこと。この手法は、布地を節約しつつ、短期間で多種多様な服作りを学べるとして広く好評を得ました。

また、辰五郎は学校教育を通じ、裁縫の知識と基礎だけでなく、読み書き、算術などの基礎的な学力、自分で考え、創造する力も養おうとしました。その真摯な教育への姿勢が評価されて千葉女子師範学校の教師補、東京女子師範学校の教員などを務めました。そして湯島の自宅2階に東京家政大学の前身となる和洋裁縫伝習所を開設。この伝習所は、のちに東京裁縫女学校と改称され、辰五郎は校長として校務に専念するようになったのです。

女性教育の充実化を図り、自ら先陣を切って走り続けてきた辰五郎は、1907(明治40)年にその生涯を閉じています。しかし、彼の提唱した女性の真の「自主自律」を求める精神は、その後続く人々によって確かに受け継がれていきました。

「和洋裁縫伝習所」創立
～自立した女性の育成～



校祖
渡邊辰五郎

わたなべ たつごろう

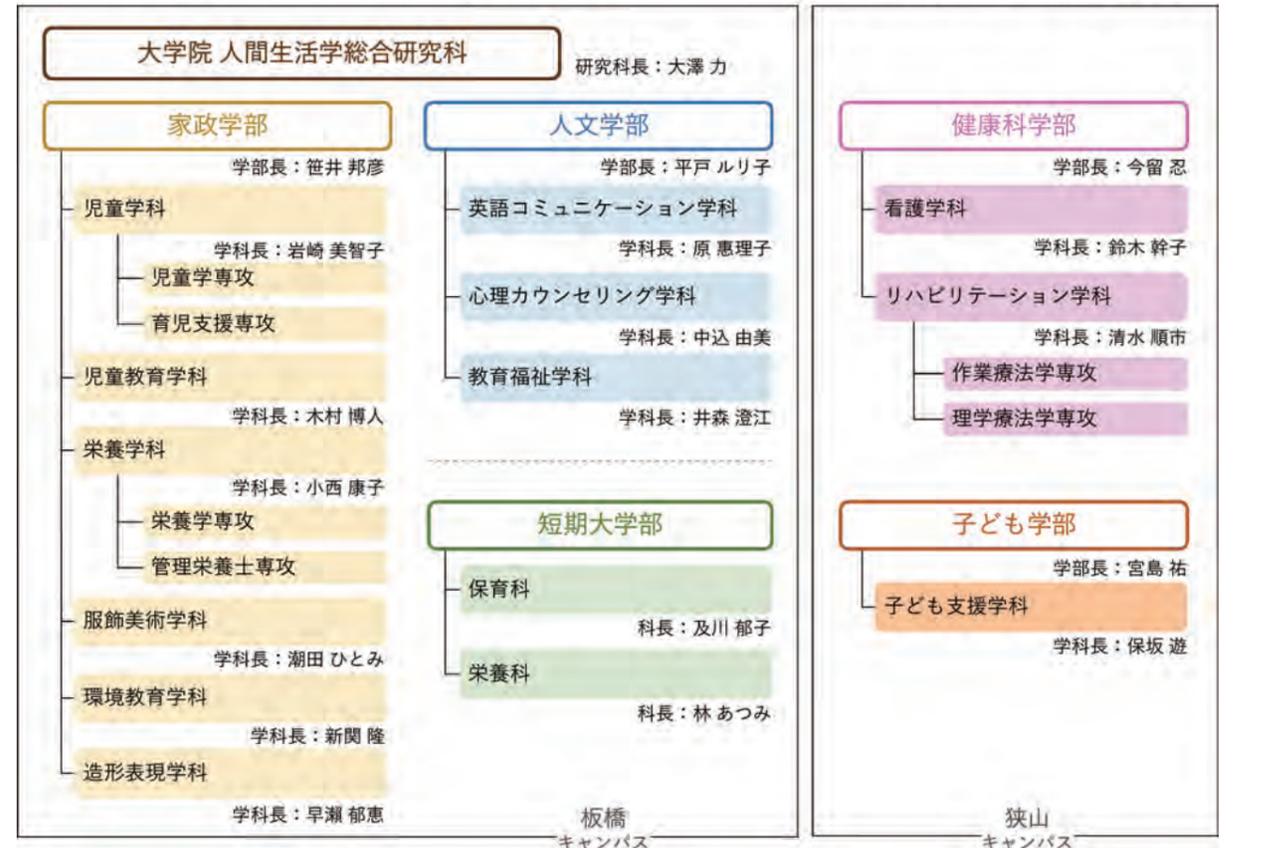
1844(弘化元)年生まれ。東京家政大学の前身となる私塾を創設。裁縫を通じた女子教育に生涯を捧げた。その画期的な教授法は渡邊式と呼ばれた。

2021 創立 140 年東京家政大学の今

東京家政大学・東京家政大学短期大学部

学長：井上 俊哉

副学長：今留 忍/太田 洋/三浦 正江/押元 信幸



昭和22年	昭和21年	昭和20年	昭和16年	昭和5年	大正11年	明治40年	明治39年	明治35年	明治32年	明治28年	明治25年	明治14年
1947	1946	1945	1941	1930	1922	1907	1906	1902	1899	1895	1892	1881
4月1日	1月29日	4月	3月9日	4月1日	10月19日	4月1日					4月	4月6日

校祖・渡邊辰五郎、本郷区湯島四丁目三番地に私塾「和洋裁縫伝習所」(現・東京家政大学) 設立

和洋裁縫伝習所を拡張、「東京裁縫女学校」と改称、官の許可を得る

同窓会(現・緑窓会) 発会

大日本女学校の通信教育で、全国の4万人が12年間で渡邊辰五郎の裁縫を受講

従来10教科に国語・算数・英語・編み物に加え、造花を廃する

教員養成会開設

教員志願者増加に伴い、師範科開設

校長渡邊辰五郎逝去、谷中に葬る

校長に長男渡邊滋就任

「東京裁縫女学校高等師範科」を「東京裁縫女学校専門部」へ改組

専門部を「東京女子専門学校」と改称

法人名を「財団法人渡辺学園」と改称

創立50周年記念式典を日比谷公会堂で挙行

高等女学校令による「渡辺高等女学校」を創立

東京大空襲により湯島校舎が消失

東京第二師範学校追分校の借用(二教室)と滝野川錦華寮の二か所を仮校舎として授業開始

東京第二陸軍造兵廠板橋製造所跡の土地、建物の一部(土地24107坪、建物36棟1963坪)を学校校舎として使用許可を受ける

板橋キャンパスに移転

「渡辺女子中学校」(新制) 設置

狭山校舎竣工記念式典



百周年記念館



附属女子高等学校の授業風景



大学の授業風景「洋裁実習」



狭山校舎1号館



創立100周年記念式典当日の板橋校舎正面



ナースリールームの保育風景



大学の授業風景(教室に当時の唯一の暖房器具である「だるまストーブ」が置かれている)

狭山校舎開学記念運動会



昭和23年	昭和24年	昭和25年	昭和26年	昭和28年	昭和37年	昭和40年	昭和42年	昭和55年	昭和56年	昭和60年	平成元年	平成5年	平成6年	平成8年	平成9年	平成12年	平成14年	平成15年	平成17年
1948	1949	1950	1951	1953	1962	1965	1967	1980	1981	1985	1989	1993	1994	1996	1997	2000	2002	2003	2005
7月20日	4月1日	4月1日	3月14日	6月10日	3月23日	1月1日	4月1日	12月13日	4月6日	2月5日	4月1日	4月1日	8月4日	4月1日	1月18日	4月1日	4月	4月1日	9月

東京家政大学という大学名称を全教職員・学生投票にて決定
東京家政大学設置認可申請書提出
東京家政大学家政学部(生活科学科、被服学科(四年制))設置
(S24.21認可)

「渡辺学園女子中学校」を「東京家政大学附属女子中学校」と改称
「渡辺学園女子高等学校」を「東京家政大学附属女子高等学校」と改称

東京家政大学短期大学部家庭科(二年制)設置(S25.3.14認可)
法人組織を改め「学校法人渡辺学園」と変更

東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園(二年保育)設置(S28.8.15認可)
家政学部の学科を増設(生活科学科を廃し、児童学科、栄養学科、服飾美術学科設置)認可
短期大学の科を増設(家政科を廃し、保育科、栄養科、服飾美術科設置)認可

東京家政大学・東京家政大学短期大学部後援会発足
国有財産私下契約締結(土地21210.02坪、建物26棟)
住居表示の実施により、法人の主たる事務所の所在地を変更(東京都板橋区加賀一丁目十八番一号となる)
大学にナースリールーム設置
百周年記念館竣工
創立100周年を迎える
創立100周年記念式典挙行
文学部設置(第一次)認可
狭山国有地の本学園への払下げを大蔵省「国有財産関東地方審議会」に答申

狭山校地について大蔵省との間で「普通財産売買契約書」締結
文学部設置(第二次)認可
狭山校舎開学 一学部設置の大学となる
文学部及び家政学部一般教育課程(一年生、二年生)を狭山校舎に設置
大学院家政学研究科(修士課程)設置(H元3.17認可)
大学院家政学研究科博士後期課程人間生活学専攻設置(H5.3.19承認)

校祖生誕150年を迎え、渡邊辰五郎生誕地(千葉県長南町)を訪問
大学院文学研究科(修士課程)設置(H7.12.22認可)
大学入試センター試験利用入試制度導入
家政学部(H8.12.19認可)
栄養学科環境情報専攻→環境情報学科
博物館所蔵の渡辺学園「裁縫雛形」コレクションが国の重要有形民俗文化財に指定
早稲田大学との単位互換協定による学生の相互履修始まる
家政学部(H14.7.30認可)
服飾美術学科美術専攻→造形表現学科
個人情報保護に関する法律(法律第57号)に伴い、個人情報保護に関する基本的な方針(プライバシーポリシー)、学校法人渡辺学園個人情報保護に関する規程及び個人情報保護委員会規程が設定される

〈明治14年～平成17年は、年史等からの抜粋〉



板橋校舎・煉瓦建物(22号棟)



心理カウンセリング学科授業風景



創立125周年記念式典



文学部開設20周年記念式



教育福祉学科授業風景



大学16号館新築工事 地鎮祭



創立125周年記念祝賀会



ナースリールーム新園舎保育室

平成21年 2009	平成20年 2008	平成19年 2007	平成18年 2006
<p>4月1日 共通教育推進室設置 板橋図書館別館開設 文学部全学生板橋キャンパスへ移動 学部名称変更(H20.6.26届出) 文学部→人文学部</p> <p>2月1日 狭山図書館閉館 志木実習所土地(511.01㎡)・建物(181.83㎡) 売却 妙高緑苑荘閉鎖 入学定員75→85名 3年次編入学定員5→5名</p> <p>3月25日 児童学科児童教育専攻→児童教育学科 入学定員75→85名 3年次編入学定員5→5名</p> <p>4月1日 人文学部(H20.6.26届出) 心理学教育学科→心理カウンセリング学科 入学定員95→80名 3年次編入学定員5→5名 心理教育学科→教育福祉学科 入学定員70名 3年次編入学定員5名</p>	<p>9月8日 ナースリールーム創立40周年アニバーサリーパーティー挙行(保護者会主催)</p> <p>12月25日 志木実習所隣接土地(115.50㎡)・建物(65.08㎡) 木造セメント瓦葺平屋建) 購入 大学・短期大学部学長に木元幸一就任 文学部1年生板橋キャンパスへ移動 短期大学部国際コミュニケーション科 募集停止 板橋校舎・煉瓦建物3棟(21.22.58号棟) 板橋区有形文化財(旧東京第2陸軍造兵廠建物群) 登録 第20期理事会発足 理事長清水司再任 大学16号館新築工事 地鎮祭挙行</p> <p>5月13日 板橋校舎・煉瓦建物3棟(21.22.58号棟)</p> <p>6月5日 第20期理事会発足 理事長清水司再任</p> <p>8月1日 大学16号館新築工事 地鎮祭挙行</p> <p>11月5日 志木実習所土地(511.01㎡)・建物(181.83㎡) 売却</p> <p>2月1日 狭山図書館閉館</p> <p>3月25日 妙高緑苑荘閉鎖</p> <p>4月1日 共通教育推進室設置 板橋図書館別館開設 文学部全学生板橋キャンパスへ移動 学部名称変更(H20.6.26届出) 文学部→人文学部</p>	<p>4月1日 隣接国有地購入(東京国税局下十条宿舍跡地 16354.53㎡) 家政学部1年生板橋キャンパスへ移動</p> <p>3月30日 創立125周年記念式典及び祝賀会挙行</p> <p>10月22日 文学部開設20周年記念式典及び祝賀会挙行(狭山校舎)</p> <p>10月10日 大学14・15号館新築工事 地鎮祭挙行</p> <p>5月27日 文学部及び文学研究科の緑窓教育会「緑育会」設置</p> <p>5月8日 ナースリールーム新園舎へ移転(1号館)</p> <p>4月1日 家政学部1年生板橋キャンパスへ移動</p>	<p>4月1日 家政学部2年生板橋キャンパスへ移動</p> <p>家政学部造形表現学科 入学定員変更 90名→107名(H17.9.30認可)</p> <p>短期大学部服飾美術科 入学定員変更 135名→100名(H17.7.28届出)</p> <p>家政学部環境情報学科情報コース中一種・高一種免許(情報) 認定(H18.3.13認可)</p> <p>家政学部環境情報学科理科コース中一種・高一種免許(理科) 認定(H18.3.13認可)</p> <p>ナースリールーム新園舎へ移転(1号館)</p> <p>文学部及び文学研究科の緑窓教育会「緑育会」設置</p> <p>文学部開設20周年記念式典及び祝賀会挙行(狭山校舎)</p> <p>大学14・15号館新築工事 地鎮祭挙行</p> <p>10月10日 創立125周年記念式典及び祝賀会挙行</p> <p>10月22日 文学部開設20周年記念式典及び祝賀会挙行</p> <p>3月30日 隣接国有地購入(東京国税局下十条宿舍跡地 16354.53㎡)</p> <p>4月1日 家政学部1年生板橋キャンパスへ移動</p>



創立130周年記念シリーズ講演



北区との締結



「在学生特待生奨学金」授賞式



《3月11日・12日 地震発生に伴う本学の対応状況》

3月11日(金)
 14:46 震度5強地震発生。非常放送により学生約600名、附属中高生約540名、幼稚園預かり保育児約30名、教職員等約230名がグラウンドに避難。対策本部設置。本部横に大学保健室の医師、看護師、カウンセラーが常駐。
 15:00頃 常務理事、総務部長、財務部長、家政学部長、教育・学生支援センター所長、進路支援センター所長、保健センター所長を中心に対策を行う。
 15:15頃 教職員が各建物を回り、全員避難を確認。
 15:30頃 グラウンドにブルーシートを敷き、毛布、アルミブランケット、ホッカイロを配布。
 15:50頃 荷物を持たずに避難した学生を、各建物別に記名させ荷物を取りに移動。
 16:10頃 幼稚園児は園舎、附属中高生はC校舎、学生・教職員等は16号館へ避難。16号館本部前に掲示板を設置し、その都度情報を張り出す。徒歩帰宅可能な学生は守衛所で氏名等を記載させ、帰宅を許可。避難してきた地域住民の方約90名を受け入れる。
 16:30~ 学生、避難者の氏名、所属、連絡先を把握。避難者約1100名。
 18:00~ 地震、津波状況を館内放送、教室の視聴覚機器で随時放送。
 19:00過ぎ 乾パン、飲料水、ホッカイロを配布。学生のみみち条駅近辺まで、記名させて外出を許可。
 20:00頃 私鉄が順次復旧。帰宅可能な学生は記名させ随時帰宅を許可。近隣企業の方約30名、帰宅途中の方(池袋・新宿方面より)を受け入れる。
 23:00 学生・教職員の安全をホームページに掲載。
 24:00 消灯。約890名が宿泊。
3月12日(土)
 5:45 起床。健康状態確認。全員で清掃、片付け。
 7:00 非常食クッキー、飲料水を配布。
 8:00~ 交通機関の状況に合わせて、記名させ随時帰宅を許可。
 13:00 本部解散。帰宅出来なかった学生(5名)は教職員が車で送り届けた。

東日本大震災時の時系列



避難の様子



震災時の板橋図書館

平成24年
2012

4月1日
6月28日
6月5日
4月26日
4月21日
4月6日

大学・短期大学部学長に木元幸一再任
 家政学部服飾美術学科 入学定員変更175名(H22.8.30認可)
 短期大学部服飾美術科 募集停止
 学校教育法・大学設置基準改正に伴い、大学・短大・学部、学科、課程等の教育研究上の目的ほか教育研究活動等の状況明記
 創立130周年を迎える
 創立130周年記念シリーズ講演開催(2012年1月19日)
 創立130周年記念「渡邊辰五郎賞」創設
 第21期理事会発足 理事長清水司再任
 創立130周年記念「在学生特待生奨学金」創設
 家政学部(H23.8.29認可)
 児童学科児童学専攻・育児支援専攻 入学定員変更 各75名↓105名
 栄養学科栄養学専攻 入学定員変更 95名↓120名
 栄養学科管理栄養士専攻 入学定員変更 130名↓160名
 造形表現学科 入学定員変更 107名↓120名

短期大学部(H23.8.30届出)
 保育科 入学定員変更 200名↓120名
 栄養科 入学定員変更 180名↓80名
 人間生活学総合研究科 設置(H23.5.31届出)
 児童学児童教育学専攻 入学定員5名
 健康栄養学専攻 入学定員5名
 造形学専攻 入学定員4名
 英語・英語教育研究専攻 入学定員4名
 臨床心理学専攻 入学定員8名
 教育福祉学専攻 入学定員4名
 人間生活学専攻 入学定員3名
 教員の免許状授与の資格を得させるための課程認定申請書を提出し、認定される

平成23年
2011

3月11日
3月30日
4月1日

14時46分、東日本大震災が発生
 学内に学生・生徒・幼稚園預かり保育児・森のサロン親子・教職員等、約1400余名があり、当日帰宅困難者約900名が学園に一泊した。
 広域避難場所となっているため、近隣住民も受け入れ、避難宿泊した。
 翌日、午後1時過ぎに本部を解散、学内滞在者は全員無事に帰宅した。
 北区との連携協力に関する包括協定書 締結
 財団法人大学基準協会による評価の結果、大学基準に適合と認定(2010年3月)
 内部監査室設置
 板橋校舎・狭山校舎建物内外全域において全面禁煙

平成22年
2010

2月20日
3月18日
4月1日
9月25日

大学17号館新築工事 地鎮祭挙行
 財団法人短期大学基準協会による評価の結果、適格と認定
 「リニューアルすくすくサロン」が板橋区地域子育て支援拠点事業となり「森のサロン」として委託事業開始
 大学共通科目を全学共通教育科目(7科目群)に改編
 大学17号館新築工事 竣工式挙行
 鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付4階建
 延床面積:1582.17㎡

9月5日

家政学部児童教育学科 幼一種免許、小一種免許認定(H20.12.24認可)
 人文学部心理カウンセリング学科 養護教諭一種免許、教育福祉学科 中一種免許(社会)、高一種免許(公民) 認定(H20.12.24認可)
 大学16号館新築工事 竣工式挙行
 大学16号館
 鉄骨造陸屋根3階建延床面積:5766.41㎡
 十条門守衛室
 鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建 延床面積:16.66㎡
 防災備蓄倉庫
 鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建 延床面積:101.70㎡
 体育倉庫
 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建延床面積:72.31㎡



板橋図書館「Lプラザ」



わかかさグループ創立50周年式典



狭山市との締結



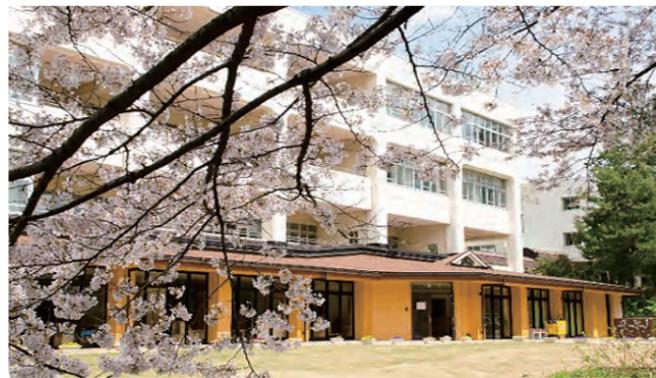
長南町との締結



板橋区との締結



看護学科授業風景



かせい森のおうち



新狭山キャンパス開学式



幼稚園創立60周年記念式典

平成28年 2016	平成27年 2015	平成26年 2014	平成25年 2013
<p>10月25日 「学園賞(献賞)」創設</p> <p>10月1日 創立140周年記念事業に向けて、財務部長理事課内に募金事務局設置</p> <p>9月5日 板橋区との連携に関する基本協定書 締結</p> <p>8月31日 校相渡邊辰五郎生誕の地千葉県長南町との連携協力に関する包括協定書 締結</p> <p>8月9日 既に指定を受けている特定公益増進法人に加え、寄附金税額控除法人に指定</p> <p>7月5日 わかかさグループ創立50周年式典挙行</p> <p>4月18日 埼玉県狭山市との連携に関する基本協定書 締結</p> <p>4月1日 中高M.U.環境整備開始(2019年4月)</p>	<p>4月1日 狭山学生食堂が新規オープン</p> <p>3月1日 狭山図書館ラーニング commons 開設</p> <p>2月1日 板橋図書館ラーニング commons 「Lプラザ」開設</p> <p>1月9日 理事長清水司退任、名誉理事長就任</p> <p>10月6日 財務部発注・検収課設置</p> <p>9月18日 学校教育法改正に伴い、大学・短大教授会 審議機関から諮問機関へ 教員の免許状授与の資格を得させるための課程認定申請書を提出し、認定される</p> <p>6月5日 人間生活学総合研究科 造形学専攻 中・高専修(美術)</p> <p>6月5日 第22期理事会発足 理事長清水司再任</p> <p>4月3日 大学院文学研究科 廃止</p> <p>4月1日 狭山セミナーハウスかせいの森(6号棟) 新築工事 竣工式挙行(狭山校舎)</p> <p>4月1日 鉄骨造陸屋根3階建 延床面積:2512.77㎡</p>	<p>3月3日 附属みどりヶ丘幼稚園創立60周年記念式典挙行</p> <p>3月26日 附属女子中学校・高等学校「併設型中高一貫教育校」認可</p> <p>4月1日 附属女子中学校・高等学校「併設型中高一貫教育校」施行</p> <p>3月3日 大学・短期大学部学長に川合貞子就任</p> <p>3月3日 狭山キャンパス開学(看護学部・子ども学部 H25.10.31認可)</p> <p>3月3日 看護学部看護学科 入学定員100名</p> <p>3月3日 子ども学部子ども支援学科 入学定員100名</p> <p>3月3日 看護学部看護学科 看護師、保健師、助産師養成課程認定 (H25.10.31/H25.11.7認可)</p> <p>3月3日 子ども学部子ども支援学科 幼一種免許、特別支援学校一種免許 課程認定 (H26.2.19認可)</p> <p>3月3日 子ども学部子ども支援学科 保育士養成施設指定 (H26.3.18/H26.3.25認可)</p> <p>3月3日 学修・教育開発センター、東京家政大学かせい森のおうち(狭山校舎)、狭山セミナーハウスかせいの森(狭山校舎) 設置</p> <p>3月3日 大学 附属施設名称変更(人間文化研究所→女性未来研究所(板橋校舎)、地域連携協力推進センター→地域連携推進センター(狭山校舎))</p> <p>3月3日 狭山保健室、学生相談室開室(狭山校舎)</p> <p>3月3日 狭山図書館再開館</p> <p>3月3日 大学院文学研究科 廃止</p> <p>3月3日 狭山セミナーハウスかせいの森(6号棟) 新築工事 竣工式挙行(狭山校舎)</p> <p>3月3日 鉄骨造陸屋根3階建 延床面積:2512.77㎡</p>	<p>4月1日 人間生活学総合研究科 児童学児童教育学専攻 幼・小専修、健康栄養学専攻 中・高専修(家庭)、造形学専攻 中・高専修(家庭)、英語・英語教育研究専攻 中・高専修(英語)、臨床心理学専攻 高専修(公民)、教育福祉学専攻 高専修(公民)</p> <p>4月1日 附属女子高等学校・中学校校長に高木くみ子就任</p> <p>4月1日 狭山セミナーハウスかせいの森(6号棟) 新築工事 地鎮祭挙行(狭山校舎)</p>



健康科学部への改組及びリハビリテーション学科開設記念講演



狭山校舎6号館



リハビリテーション学科授業風景



UNIVERSITY
ACCREDITED
2018.4~2025.3

公益財団法人大学基準協会による評価の結果、
大学基準に適合と認定



ナースリールーム50周年記念式典



清水司名誉理事長「お別れの会」

平成29年
2017

12月26日
妙高緑苑荘土地 (10850.00㎡)・建物 (1049.75㎡) 売却

3月10日
一般財団法人短期大学基準協会による評価の結果、適格と認定

狭山校舎6号館 (20号棟) 新築工事 地鎮祭挙行

4月1日
大学・短期大学部学長に山本和人就任 (学長選考規程改正により選出)

附属女子高等学校・中学校校長に篠原善廣就任

中高NGUルーム (自学自習室) 設置

大学・短大単一単位の学修時間明記

大学・短大 WIT 環境整備開始 (2020年3月)

大学・短大新たな学修管理システム「Manabal」導入

学校教育法・学校教育法施行規則改正に伴い、大学・短大教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針、学位授与に関する事項明記

大学・短期大学部 副学長 新設

大学・短大学生 CREED 設立

第23期理事会発足 理事長菅谷定彦再任

6月5日
TKU サマープログラム開始

6月25日
清水司名誉理事長 逝去

10月21日
ナースリールーム創立50周年記念式典挙行

11月12日
清水司名誉理事長「お別れの会」挙行

12月9日
狭山校舎6号館 (20号棟) 新築工事 竣工式挙行

3月26日
鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 延床面積: 4205.45㎡

4月1日
箱根仙石セミナーハウス隣接地 (1625.00㎡) 購入

Admission Office of All Academies 設置

公益財団法人大学基準協会による評価の結果、大学基準に適合と認定 (2025年3月)

学部名称変更 看護学部→健康科学部 (H29.12.4 届出)

健康科学部に学科新設 (H29.8.28認可)

リハビリテーション学科作業療法学専攻 入学定員40名

リハビリテーション学科理学療法学専攻 入学定員40名

平成30年
2018

健康科学部リハビリテーション学科作業療法士、理学療法士養成課程認定 (H29.8.31 / H29.9.19認可)

子ども学部子ども支援学科 入学定員変更 100名→120名 (H29.6.30認可)

附属女子高等学校・中学校校長に篠澤文雄就任

健康科学部への改組及びリハビリテーション学科開設記念講演・祝賀会挙行 (狭山校舎)

4月5日

教員の免許状授与の資格を得させるための課程認定申請書を提出し、平成31年1月25日認定される (再課程認定)

家政学部

児童学科児童学専攻 幼一種

児童学科育児支援専攻 幼一種

児童教育学科 幼一種・小一種

栄養学科栄養学専攻 中一種・高一種 (家庭)

栄養学科管理栄養士専攻 中一種・高一種 (理科)

服飾美術学科 中一種・高一種 (家庭)

環境教育学科 中一種・高一種 (理科)

造形表現学科 中一種・高一種 (美術)

人文学部

英語コミュニケーション学科 中一種・高一種 (英語)

心理カウンセリング学科 養護教諭一種

教育福祉学科 中一種 (社会)・高一種 (公民)

子ども学部

子ども支援学科 幼一種

課程認定の取下げ

家政学部

栄養学科栄養学専攻 中一種・高一種 (保健)

環境教育学科 高一種 (情報)

校祖・歴代の理事長・学長

校祖



渡邊辰五郎
1881～1907年



渡邊 赳
1946～1950年



高橋 敬三
1975～1990年



畑井新喜司
1950～1956年



苦米地孝之助
1990～1999年



人見 脩蔵
1956～1960年



清水 司
1999～2016年
名誉理事長
2016～2017年

歴代理事長



渡邊 滋
1907～1946年



有光 次郎
1960～1975年



菅谷 定彦
2016年～

歴代学長



畑井新喜司
1949・1956～
1959年



津郷 友吉
1981～1987年



木元 幸一
2008～2014年



青木誠四郎
1949～1956年



池本 洋一
1987～1993年



川合 貞子
2014～2017年



有光 次郎
1959～1975年



清水 司
1993～2002年



山本 和人
2017～2021年



三木 テイ
1975～1981年



片岡 輝
2002～2008年



井上 俊哉
2021年～